



国立大学法人 北海道大学 総合博物館

開校140年以來 全学的な学術標本の集約と、学内外への情報発信のために設置された総合博物館

昭和4年に創建された北海道最古のRC建物として歴史的価値を有する建物は、ハンドメイドによるスクラッチタイルと特殊形状のテラコッタが外装仕上げに用いられた重厚な印象の外観を有している。全面改修ではスクラッチタイルと損傷のあるテラコッタの一部を新規で製作。新規製作タイルは既存タイルと取り合うことから、関係者による協議の中で8種類の色構成を採用することで既存との調和を図っている。



外観

DATA

施主：国立大学法人 北海道大学
所在地：北海道札幌市北区北10条西8
竣工：2016年7月(改修)

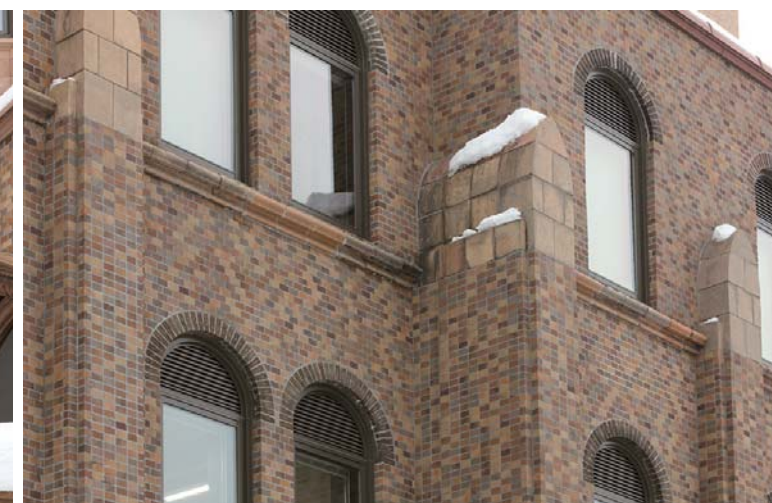
商品情報

外装壁タイル：湿式施釉タイル 108×60 t=15mm 8色MIX
テラコッタ：湿式施釉テラコッタ W300×H200×D341
W470×H350×D540
W227×H180×D100

外観



▲改修後タイル



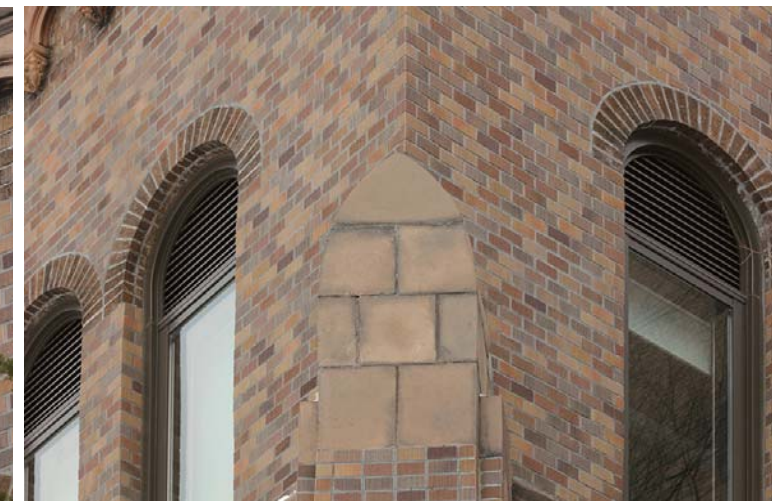
▲オリジナルタイル

外装(柱頭、窓台テラコッタ+タイル)

外観



外装壁面(パラペットテラコッタ+タイル)



外装壁面(柱頭テラコッタ+タイル)

ディテール



外装壁テラコッタディテール



外装壁タイルディテール